

# まちづくり情報



## まち元気講演会

### 「商店街から始まる地域の活性化 みやのかわ商店街の取組み」

平成22年2月21日(日)に秩父市みやのかわ商店街振興組合理事長の島田憲一氏を講師として「まち元気講演会」をグリーンベル21で開催しました。  
《講演概要》

25年前から開催され252回を数えるナイトバザールは、いかにお店の中に入ってもらうかがポイントであり、同じイベントは二度とやらない。バザールを続けることによってまちづくりを進めてきた。イベントは手段であり、続けることで目的が少しずつではあるが達成されてきている。

また、買い物代行・出張商店街「楽楽屋」・ほつとすぽつと秩父館、ボランティアバンクおたすけ隊など、地域のニーズに合わせ積極的に事業を展開している事例を紹介してくれました。総括的には、全国初のコイン型商品券「和同開珎」に代表されるように、失敗を恐れずにやってみることが重要であり、お金をかけず汗をかく方法だっている。全員が一生懸命になっているところなんてなく、10人いれ

ば2人が一生懸命、2人がやらない、残りの6人が何とかつきあってくれるものなので、ぜひ今回参加した人達が、まず一生懸命やる人になってもらいたい。活性化やまちづくりは、1%でも実現するとおもしろくなってくる。



まち元気講演会は今年度も実施される予定であり、ますので、皆さんの参加をお待ちしております。

## 就任のご挨拶

街なか対策部長 生方 秀二

4月1日付けの人事異動により、街なか対策部長に就任いたしました生方秀二でございます。平成15年度から平成18年度までの4年の間、街なか振興課長として上之町、中町、下之町の3町の皆様方には大変お世話になりましたが、このたび、街なか対策部長を仰せつかりその大役に身の引き締まる思いであり、責任の重さを感じております。

中心市街地街なか再生事業の大きな柱である土地区画整理事業も権利者の皆様の努力により進捗がみられ、また商業などの活性化につきましても関係者皆様の積極的な協力が積み重ねられ、その姿が着実に現れつつあります。市民の方々から愛され、魅力あふれる中心市街地づくりに向け、主役である皆様方と共に努力してまいりたいと考えておりますので、「ご指導」ご協力をお願い申し上げます。

### 街なか対策部 人事異動のお知らせ

平成22年4月1日付けで、人事異動がありました。街なか対策部の転入・転出者は次のとおりです。今後ともよろしく申し上げます。

#### 【転入】

- 街なか対策部長 生方 秀二(税務課長)
- 街なか対策課 課長補佐兼企画振興係長 宮川 泰
- (都市計画課都市施設係長) 佐藤 孝憲
- 区画整理係主任 補償換地係主査 峰岸 浩司
- (市民課国保係主事) (高齢福祉課高齢福祉係主査)

#### 【転出】

- 街なか対策部長 松井 完一郎(退職)
- 街なか対策課 課長補佐兼企画振興係長 伊藤 重雄
- (交流推進課長兼協働推進係長) 企画振興係副主幹 狩野 裕子
- (社会福祉課子育て支援係副主幹) 区画整理係副主幹 渡邊 俊夫(都市計画課都市施設係長)
- 補償換地係副主幹 横坂 健治(農政課農林係長)

大変お世話になりました。

## 【 活性化の会先進地視察報告 】

平成22年2月10日(水)三島市伊豆村の駅・道の駅八王子滝山、参加者 11名

**【三島市伊豆村の駅】** この施設は、民間会社が直営店とテナントで営業しているドライブイン形式である。親会社は、熱海でおみやげ物産卸をしており、全国の観光地にネットワークがある。同様の施設として、那須・日田・磐田・札幌とこのノウハウを生かして営業している。年商約13億円(内野菜3.3億円) 来店者約130万人。店舗面積2000㎡、敷地面積目測8000~1万㎡。駐車場大型5台・普通120台。出荷組合員180人。来店者はポイントカードも発行しているように、地元の人が9割を占め、他の食品スーパーと差別化していて、野菜以外は対面販売が中心である。村の駅は、食に対する美味しさ、安心・安全性を追求する事を考え、採りたて、できたて、作り手の顔が見えるをテーマにし、おばあちゃんの味・お袋の味、匠の技・先人の知恵などを教室やイベントを通じてお客様と共に学び、人の優しさ・温かさ、家族の愛情を伝える村づくりを行っている。そのためのイベントを毎週行い、ちょっとしたこともお客様と一緒に楽しんでいる。

**【道の駅八王子滝山】** この施設は、公設で指定管理者が運営する「道の駅」である。地場産品の販売・飲食を通じて、食の安全・安心への要求に応え、農業をはじめ地域産業の育成を図り、地域情報の提供と交流を深める事を目的にして都内初の「道の駅」として造られた。「交流とにぎわいを紡ぐ都市型道の駅」をコンセプトにして、地域住民、高齢者から子供、学生まで交流・にぎわいを促し、道の駅そのものに目的を持ってもらえる施設を目指している。そのため地域の方にコンサートをはじめ多用に渡って利用できる造りになっている。特に、周りには大学が多くある。敷地面積7464㎡、駐車場、大型5台・普通55台・障害者2台と第2駐車場。建物1300㎡、交流ホール・直売場・飲食。来場者100万人、売上10億円。出荷組合員130人。公設なので、災害時の避難場所として防火水槽・簡易井戸があり、ガスはプロパンにしてあり、市の防災倉庫として飲料水・非常食・毛布などを備蓄している。ハード面は、ボランティアが設計し八王子産の木材を利用し景観に配慮したものとなっている。トイレを重視して、女性用にはパウダールームもある。ソフト面では、市民を対象として考え、生産者からなる出荷組合を中心に地場産品と地場の加工品、地場食材の飲食を提供するようにしている。

**【総括】** 公設民営と民設民営の違いを学んだ。公設民営は、建物は立派で防災時のことも考えている。落ち着いた雰囲気である。民設民営は、建物に経費は掛けず、猥雑さがあり声が出ていて活気を感じた。共通しているのは、体験イベントをはじめとして地域の方を中心に交流を図っている。両方トイレが綺麗であり駐車場も第2を用意してあった。にぎわいの核として考えると、産直・地産地消を中心としたものが集客力が高い。活力は、民設民営が高く、決断が早い。趣旨目的をきめて、事業者の選定する方向を出したい。(活性化の会 矢嶋照久)

### 親子べー風教室

3月6日・13日(土)親子べー風教室が昨秋オープンした中町なかま広場で開催されました。大正・昭和の時代に故郷の風として親しまれてきた「べー風」を親子で作成し、完成後は沼田小学校校庭で風上げを楽しみました。

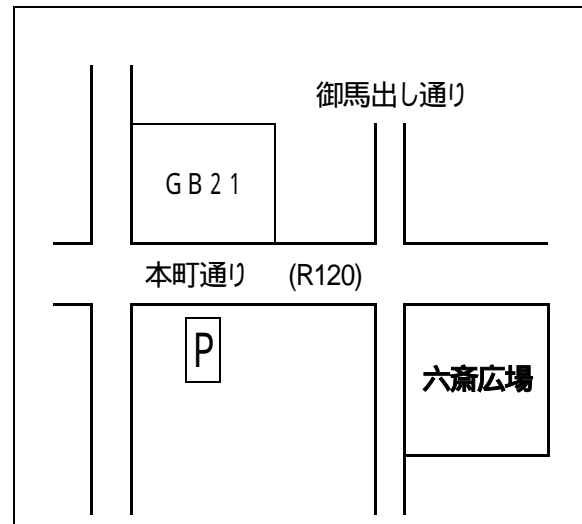
### 上之町318まつり

3月20日(土)上之町318(みーはー)カレーまつりを開催しました。318まつりは、ニューファミリ層をターゲットに模擬店などにぎわいを創出しました。

### 今年も始まります！六斎市

今年も六斎市が5月8日(土)から開催されます。原則として8月を除く12月までの毎月第2土曜日に開催します。場所は今年度から「六斎広場」として旧宮前薬局跡地で開催します。新鮮野菜をはじめ、農産物加工品、下田市などの物産、和装

小物を販売します。また、各種イベントも予定していますので、皆さんお出掛けください。



### 8街区区画道路新設工事完了

建物移転が完了した8街区西側の区画道路工事が3月に完了しました。工事中には関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご協力により供用が開始されました。ありがとうございました。

### 中心商店街のにぎわい創出を応援します

中心商店街(上之町・中町・下之町の区域)を活性化するための「商店街にぎわい創出事業」に対し補助金を交付します。

補助対象者 中心商店街の活性化に取り組もうとする団体など  
 補助率 補助対象経費の3分の1以内(新規性のあるものについては、さらに群馬県の補助が該当になる場合もあります)  
 その他、空き店舗補助事業についても、気軽に相談ください。

### 交通量調査を実施します

中心市街地まちづくり事業と街路事業の事業効果を測定するための基礎資料とすることを目的に上之町・下之町において5月23日(日)・25日(火)午前7時から午後7時までの日程で実施します。